



7月がスタートしました。梅雨末期の高温でムシムシとした梅雨特有のお天気が続いています。梅雨の雨は農事にとっては大切なのだ、と思いつつもこの湿度からは解放されたい気持ちです。

さて、6月29日から幼稚園では水着に着替えた水遊びが始まりました。子供たちは大喜びで楽しんでいます。

せめて子供たちのプール遊びの日は雨はお休みして欲しいものです。



## 幼稚園は小学校の先取り教育？ -鳩山幼稚園の教育を改めて考える-

指導訪問の様子(さくら)→

6月2日(金)に鳩山幼稚園に西部教育事務所による指導訪問が実施されました。これは2年に1回西部教育事務所の指導主事が来園し、保育の様子を参観しより良い保育(教育)のためにアドバイスをしてくれます。(教育事務所の指導主事による訪問は、県の全ての公立の小・中学校・幼稚園で2年毎に行われています。このようなシステムにより公立の幼稚園では、文科省から出されている指導要領に、より準拠した教育が行われています。)鳩山幼稚園の園経営、教育(保育)内容、環境構成等について、たくさんお褒めの言葉をいただきました。これからも自信を持って推進していきたいと考えています。



(にじ)→



さて、その折、指導主事の先生から、「県の教育委員会から「幼稚園では、小学校の先取り教育をしないで」ということを必ず伝えて欲しいと言われている。」というお話がありました。園だより『ピジョっこ』でも、R5.1月号(早期教育)やR4.9月号(非認知能力)、R3.12月号(フリードリヒ・フレーベルの言葉「子供は5歳までに一生涯に学ぶべき全てを学び終える」)に本園が考えている幼児教育について見解を載せました。県の教育委員会からの言葉「幼稚園は、小学校の先取り教育をする場ではない」は、本園で行っている幼児教育への後押しをもらったように感じました。

幼稚園での様々な活動や遊びの中で、子供たちは多くのことを学んでいきます。鳩山幼稚園を例に挙げれば、読書活動(読み聞かせ)を通して、言葉を覚える、文字を覚える、誰かに読んであげたくなる、文字を書きたくなる、などと発展していきます。また、自分たちが蒔いたソラマメが冬に黒く萎びてしまったことに対し、なぜだろう?お水をあげなかったから?(逆に)お水をあげすぎたから?お日様にあたらなかった?霜にあたった?寒すぎた?子供たちは今までの経験や学びを駆使していろいろと考えます。当番の子が給食の牛乳を取りに来た時に、欠席の子供の報告をします。頭の中で引き算をして、必要な牛乳の数を考えます。もちろん子供の育ちには個人差がありますが、このようなことは園の生活の日常の中に常にあります。

子供たちは広い意味での遊びや体験からたくさんのことを学び、小学校の学習や生活へとつながっていきます。多くの幼児教育の専門家もよく言っていることですが、本園でも幼児期にたくさんの豊かな体験や活動を通して「知・徳・体」をバランスよく身に付けていくことは非常に大切だと考えています。鳩山幼稚園ではこれからも年間を通して、季節感を大切にたくさんの体験活動(栽培活動や制作活動、伝統行事への取組、一斉の運動遊び、自由遊び、など)と、それを支える読書活動を通して、様々な出来事を自分事と考えられるような想像力の素地を培い、豊かな心を育んでいきたいと考えています。

- \*先取り教育…小学校の入門期にやるような学習 英語学習 特定の技能に特化したスポーツ お稽古事など
- \*先取り教育や早期教育を否定するものではありません。子供が興味・関心を持った時は効果があるかと思えます。

# 【幼稚園でできるESD 2023】

【実験】いろいろな方法で米作りに挑戦

## ピジョっこみんなのファーム



発泡スチロール田んぼ



田んぼ作り



発泡スチロール田植え



花壇にも

**【実験方法】**  
 1. 発泡スチロールの田んぼに幼稚園の苗ともらった苗を植える。  
 2. 花壇と畑に苗の稲を植える。  
 (畑は園長が植えてみました。)  
 ＊うまく育つかどうか比べてみよう！



大きく育っています



育ちは今一歩(花壇)



弱々しい(畑)

5月31日に田んぼ体験で田植えをした時に余った苗をもらいました。また、昨年の田んぼ体験の時の籾から芽が出て苗になりました。それらの苗を幼稚園でも育てることにしました。**実験稲作**です。発泡スチロール田んぼ(2種類の苗→幼稚園で芽出した苗・田植えの時余ったの苗)、園庭の花壇、さらに余ったので、畑にも植えてみました。発泡スチロール苗はすくすくと育っています。花壇と畑の陸稲はやはりあまり育っていません。

### <夏野菜育っています>

恒例の夏野菜、ナスとピーマンはお持ち帰りできた子もいます。順々に持ち帰っていますのでお家での食育に活用してください。

サツマ苗は元気に育っていますが、草もかなり育っています。



サツマ苗育ってきました



ピーマンの草取り



キュウリの苗植え



種から育てたキュウリの苗、大きくなりました。

### <ジャガイモ掘り>

6月14日(水) お天気がベストな状態ではありませんでしたが、何とかジャガイモ(男爵)掘りをする事が出来ました。この日は山村学園の学生が来園し、一緒にジャガイモ掘りをしました。土が湿っていてジャガイモに少しついてしまいましたが、たくさん掘ることが出来ました。

6月26日(月) 残っていたジャガイモ(サヤアカネ)を掘りました。今回は年長の子供たちと職員で掘りました。大きなジャガイモを掘ることが出来ました。



6月14日 男爵



大きなゲット!



6月26日 サヤアカネ



皮は薄ピンクです

**<ネギ畑の除草>** 6月28日(水)  
 急な呼びかけでしたが、7名の方が集まってくれました。1時間ほどの時間でしたが、ネギの土寄せも出来て本当に良かったです。ものすごい暑さと湿度でしたが、皆さんが一生涯懸命やってくれてすっきりきれいになりました。  
 ありがとうございました。



ネギの周りにすごい雑草です。区別が付きますか?



ネギの土寄せもできました。



6家庭7人参加 汗びっしょり

# <6月のピョっこフォト>

## <6月の誕生会>



今年もにじ組が図書館を訪問して本を借りてきました。図書館訪問は恒例になっているので慣れていますが、今年から制約が解除になり2階で日本昔話のビデオを見ることができました。鳩山幼稚園は3年前から読書教育に力を入れているので、図書館とのつながりは大切にしていきたいです。



幼稚園で育てています。これは何でしょう？  
 <先月号の問題の答え> サツマイモ イネの苗  
 どちらも順調に育っています。



## <図書館訪問>



## 22日(木) さくら組保育参観



## 23日(金) にじ組保育参観



元気な赤ちゃん産んでね。

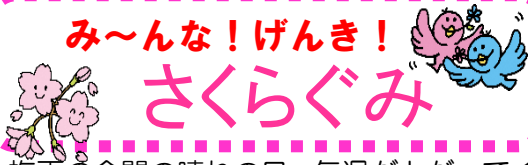
## 幼稚園の日常 さくら組お留守番・ピワ取り・シャボン玉遊び



## <季節のはなし>

湿気と暑さで梅雨明けが待たれます。ところで、梅雨の中休みは、真夏の暑さの時も多いですが、時々は、からりとした清々しい晴れの日となることがあります。実は元々はこのような梅雨の晴れ間を“五月晴れ”と言うのだそうです。今では五月晴れと言うと5月の爽やかな青空の日を表す言葉になっています。しかし、旧暦では5月は、今の暦ではちょうど梅雨の時期にあたるので、梅雨の晴れ間を“五月晴れ”と言うそうです。芭蕉の有名な句に「五月雨をあつめて早し最上川」の五月雨は5月の雨ではなく、6月（梅雨）の雨のことで、梅雨の雨だとすごい流れの河川の情景がイメージできます。因みに さくら組の七夕飾り  
 七夕（7月7日）も梅雨真っただ中で、天の川は見られません。でも7月7日の季節は実際は8月です。8月なら天の川は見ることができます。日本の場合、昔からある多くの行事は明治に導入した新暦に合わせたので季節と行事が一致していないことが多いです。（小川町のように地域によっては七夕祭りを旧暦に合わせて8月7日にやっているところもありますが）ただ、7月でも8月でも7日から七夕飾りを1週間飾っておくと13日、お盆となります。（七夕飾りはお盆でご先祖様が帰ってくる時の目印と言う説もあります。鳩山幼稚園では、七夕には大きな七夕飾りを作ります。）  
 さて、さくら組が保育参観で一緒に作った七夕飾りはいつまで飾っておきますか？





# み～んな！げんき！ さくらぐみ

『 裸足って気持ちいい！ 』

さくら組担任 星野 佐和子



梅雨の合間の晴れの日、気温が上がってくると、さくら組のみんなは喜んで砂場遊びを始めます。一人が裸足になると「僕も！」「私も！」とあっという間にみんな裸足っ子。そして誰かが「お水で遊びたい。」と提案。泥んこ遊びのスタートです。「何をつくる？」みんなの楽しそうな会話が始まりました。A君「船を浮かばせたいな。」Bちゃん「温泉を作りたい。」Cちゃん「私も温泉を作る。」D君「僕は温泉作りを手伝うよ。」E君「僕はトンネルを作ろうかな。」みんな思い思いにやりたいことをワクワク嬉しそうに話していました。そうと決まったら、泥んこ遊びのお仕度早い早い。長ズボンもちゃんとまくり、シャベルにバケツに必要な道具をそろえます。そして水汲み場から砂場へ何往復もしながら水を運ぶ子供たち。みんなの運ぶ道には水たまりができ、その水たまりもまた楽しい水遊び場。「この水たまり踏むとぶにゅぶにゅする！気持ちいい！」「お水がお湯になってる！」

しばらくして誰かが「ねえ（砂場は）水をかけてもかけてもどうして水がなくなるの？」この言葉を聞いたさくら組のみんなは「砂がのど乾いてるんだよ。」「さらさらで乾いてるから？」「吸っちゃうんだよ。」「水が足りないってことだよ。」「もっとお水持ってきて先生！！」みんなが使う水を汲んで運ぶのですが、それを上回るみんなの水を使うハイペースに驚きです。ようやく完成した観光地、温泉があって、湖があって、船を浮かべ、山にはトンネル。それはそれは素敵な観光地です！！みんなで足湯をして楽しみました。



裸足の解放感もあり、伸び伸びと遊びに取り組むさくら組さん。遊びの中で気付いたことを言葉にする機会が増えてきています。気づきを教師や友達と共有できるよう橋渡しをしていきたいと思っています。

# にじいろ

『 もっと遊びたかったのに！！ 』

にじ組担任 窪田幸恵



梅雨に入りじめじめした毎日が続きますが、にじ組の皆は楽しいことを見つけるのがとても上手です！

## ★「おうちごっこ」盛りあがっています

「頑張るぞ」と年長組として張り切って過ごしてきた気持ちも、最近では段々とほぐれてきました。伸び伸びと好きなことをして遊ぶ中で、お姫様やネコ、高校生や大学生役になったりしてごっこ遊びを楽しんでいる姿がよく見られます。空き箱でお出かけ用のバッグ、タブレット、スマートフォンなどを手作りしたり、ままごとコーナーの側にある隠れ家的なロッカーにカーテンを貼り付け、秘密基地やサウナルーム（本当に汗かいています！）に見立てて遊んだり、友達との会話を楽しみながらイメージを膨らませて楽しそうに遊んでいます。

## ★「虫捕り仲間」

A君がB君を誘います。「バッタ捕りに行こうよ！」B君は「支度するからちょっと、待っていて」と急いで支度に取り掛かります。「待ってるよ、仲間だからね」……次の日、C君がA君を「虫捕りに行こうぜ」と誘いました。「だって仲間だからね」とC君。どうやら前日のA君とB君のやりとりを見ていたようです。男の子達の中からは、『仲間』という言葉がよく聞こえてくるようになりました。

虫捕りの様子を覗いてみると、誰がたくさん捕れたのか、一番大きいのが捕れたのは誰なのか、など皆で楽しそうにお喋りをしながら、園庭の草むらを走り回っています。「先生、見てみて」と嬉しそうに見せてくれる虫かごの中には、バッタが20匹ほど入っていて「これでよし！」と満足そうなA君たちなのでした。



にじ組になり、友達と誘い合い一緒に遊ぶ姿が見られるようになってきました。「こうしない？」「いいね」「じゃ、これはどう？」など、やりたいことを表現し、気持ちをすり合わせながら遊びを進めることも増えてきました。「そろそろお片付けにしようか」と担任が声をかけると、「え～、もっと遊びたかったのに！」と、友達との遊びが楽しいと感じられている嬉しいブーイングが聞こえてくるのでした。